

学校(那覇市立上山中学校) 担当教科(家庭科) 氏名(金城ふじの)

題材のタイトル:衣服を選ぶ力を身に付けよう

達成が期待される SDGs: 12つくる責任つかう責任、13気候変動に具体的な対策を



実施時間 : 8時間計画

対象学年: 中学校3学年

SDGsの視点を取り入れた題材づくりについて

本題材では、学習指導要領で新たに明示された生活の営みに係る見方・考え方を働かせて衣服を選ぶ力を身に付けていくことをねらいとしている。重視したのは「快適」と「持続可能な社会の構築」である。

現代の日本では、若者を中心に流行しているファストファッションの影響で衣服の大量生産・大量廃棄が拡大しており、ファッション業界におけるCO2の大量排出や海洋汚染などが深刻な問題となっている。

自分らしさやかっこよさ、可愛さ、好みを選択基準とした衣生活の「快適さ」を求めていくことは、個性の表現につながり人生の楽しみとなる大切な見方・考え方である。一方で消費者が自分の衣生活と環境問題との関わりを学び、つかう責任があることを自覚して意識的に「持続可能性」を求めていくことも、今後は非常に重要な課題となっている。

そこで本題材では8時間を貫く目標として「自分らしさと持続可能な社会を実現する『衣服を選ぶ力』を身につけよう」と設定し、生徒が自分や家族の衣生活の課題を見つけ、「快適さ」と「持続可能性」を両立させた衣服の選び方や衣服計画の必要性を理解できるようにした。さらに課題について解決策を考え、家庭での実践につなげられるようにした。学習内容のひとつとして、和服の文化にも触れる。これから生きる子どもたちには、日本人が文化として受け継いできた“自然やものを大事にする心”を、次世代へとつなげることができるような衣生活を営んでいってほしいと思う。

授業プランシート(B 衣食住の生活)

月 日() 年 組

題材名 衣服を選ぶ力を身に付けよう

(1/8)

授業者：

1 本時のねらい	
(ねらい) 自分や家族の衣生活について、問題を見いだして課題を設定している。	(評価) ワークシート【思考・判断・表現】
2 めあて、まとめ、振り返り	
(まとめ) 衣生活の課題を解決するために、6つの見方・考え方から考えていこう。	(めあて) 自分や家族の衣生活の課題をみつけよう
3 見方・考え方 快適・持続可能な社会の構築	
(振り返り) 自分や家族の衣生活の課題について考えたことや気付いたことを、生活の営みに係る見方・考え方に分けて書く。	
4 本時の展開	
導入	1分前黙想・あいさつ
5分	1. ガイダンス 問題解決学習の流れと家庭科の見方・考え方 教科書参照
展開	2. 学習プランの説明 めあて『自分や家族の衣生活の課題をみつけよう』 ファッションへの興味を聞きながら生徒と会話する。 衣生活は自分らしさを表現するひとつの手段であり、見方・考え方の「快適」さにつながる。 3. 現代の日本の衣生活の課題 見方・考え方「持続可能な社会の構築」から捉える ①ワンショット消費とは ②クイズ 1日に捨てられる衣服の量 日本で作っている割合 服1着を作るのにかかる環境負荷 4. この題材で貫く目標 自分らしさと持続可能な社会を実現する「衣服を選ぶ力」を身につけよう 5. 自分や家族の衣生活をチェックする チェック表 (自分の衣生活を6つの見方・考え方から振り返られるようなチェック表を準備する。)
まとめ	5. 解決したい課題を設定する。
振り返り	6. 自分や家族の衣生活の課題について考えたことや気付いたことを、生活の営みに係る見方・考え方に分けて書く。
4 板書レイアウト	
貫く目標 自分らしさと持続可能な社会を実現する「衣服を選ぶ力」を身につけよう	
めあて 自分や家族の衣生活の課題をみつけよう	
1. ガイダンス 家庭科の見方・考え方 健康 快適 安全 協力・協働 生活文化の継承・創造 持続可能な社会の構築	2. 衣生活の学習 8時間プラン ファッションを楽しむ →自分らしさの表現→「快適」 日本の衣生活の課題→「持続可能な社会の構築」
まとめ 衣生活の課題を解決するために、6つの見方・考え方から考えていこう。	

授業プランシート(B 衣食住の生活)

月 日() 年 組

題材名 衣服を選ぶ力を身に付けよう

(2 / 8)

授業者：

1 本時のねらい	
(ねらい) 衣服を作る過程から捨てる過程までに、CO2 排出 など、衣生活が環境に及ぼす影響を理解する。	(評価) テスト・ワークシート【知識・技能】
2 めあて、まとめ、振り返り	
(まとめ) 一人一人が限りある資源を大切に使うように意識しよう。	(めあて) 制服の一生すごろくを使って、衣生活が環境に及ぼす影響を知ろう。
3 見方・考え方 快適・持続可能な社会の構築	
(振り返り) 今日の授業でわかったことや気付いたことを、生活の営みに係る見方・考え方に分けて書く。	
4 本時の展開	
導入	1分前黙想・あいさつ
5分	1. 前回の振り返り
展開	2. 制服の一生すごろくの説明 制服の一生すごろく ころを育む衣服 服育 (fukuiku.net) 制服を「つくる」「着る」「捨てた後」の過程でどのくらいの CO2 が排出されるのかが見える化したすごろく。ゲーム感覚で楽しみながら制服の一生について知り、衣生活の環境への影響について学ぶことができる。
	3. グループですごろくをする
	4. 教科書 持続可能な衣生活を目指して 資源や環境を保護する立場から生活者としての自覚を高める 必要以上の衣服の購入は、限られた資源を無駄にする 衣服計画の必要性
まとめ	
5分	
振り返り	
5分	5. まとめ 6. 今日の授業でわかったことや気付いたことを、生活の営みに係る見方・考え方に分けて書く。
4 板書レイアウト	
貫く目標 自分らしさと持続可能な社会を実現する「衣服を選ぶ力」を身につけよう めあて 制服の一生すごろくを使って、衣生活が環境に及ぼす影響を知ろう。	
1. 制服の一生 ・「作る」「着る」「捨てた後」の3つの過程 ・それぞれでかかる環境負荷	3. 教科書 資源や環境を守っていかう 資源を無駄にしないために衣服計画が必要
2. カーボン CO2 のこと	まとめ 一人一人が限りある資源を大切に使うように意識しよう。


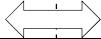
授業プランシート(B 衣食住の生活)

月 日() 年 組

題材名 衣服を選ぶ力を身に付けよう

(3 / 8)

授業者：

1 本時のねらい	
(ねらい) 衣服と社会生活との関わりを理解するとともに、衣服の適切な選択を考え、工夫することができる。	(評価) ノート【思考・判断・表現】
	
2 めあて、まとめ、振り返り	
(まとめ) 衣服には社会生活上の働きがあり、その関わりを考えながら個性を生かす着用を工夫する。	(めあて) 衣服の働きを知り、自分らしい着方を考えよう
	
(振り返り) 今日授業でわかったことや気付いたことを、生活の営みに係る見方・考え方に分けて書く。	
3 本時の展開	
導入	1 分前黙想・あいさつ
5分	1. 前回の振り返り
展開	2. 教科書 衣服の働き
	3. 教科書 目的に応じた着用、個性を生かす服装 デジタル教科書 衣服で印象が変わることをイメージする
	4. 自分らしい着方を考えよう。 T.P.O.を設定して自分らしい着方を考える。 イラストを描いて表現する。 色やデザインなど自由に個性を表現する。
まとめ	5. まとめ
5分	
振り返り	6. 今日授業でわかったことや気付いたことを、生活の営みに係る見方・考え方に分けて書く。
5分	
4 板書レイアウト	
貫く目標 自分らしさと持続可能な社会を実現する「衣服を選ぶ力」を身につけよう	
めあて 衣服の働きを知り、自分らしい着方を考えよう	
1. 衣服の働き	3. 自分らしい着方を考えよう
2. 目的に応じた着用、個性を生かす服装	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">まとめ</div> 衣服には社会生活上の働きがあり、その関わりを考えながら個性を生かす着用を工夫する。	

授業プランシート(B 衣食住の生活)

月 日() 年 組

題材名 衣服を選ぶ力を身に付けよう

(4 / 8)

授業者：

1 本時のねらい	
(ねらい) 日本の伝統的な衣服である和服について、洋服との構成や着方の違い、江戸時代の衣生活にあった着物を最後まで使い尽くすという考え方について知る。	(評価) テスト・ワークシート【知識・技能】
2 めあて、まとめ、振り返り	
(まとめ) 和服は直線縫いの平面構成で紐を結んで体に留め付ける。自然や物を大切にすることが和服の文化には受け継がれている。	(めあて) 洋服と和服の違いを知り、その良さをみつけよう
(振り返り) 今日の授業でわかったことや気付いたことを、生活の営みに係る見方・考え方に分けて書く。	
3 本時の展開	
導入	1 分前黙想・あいさつ
5分	1. 前回の振り返り
展開	2. 着物や浴衣を着たことがあるか？ どんなどきに着たか？ 3. 和服と洋服の違い ①構成 ②着方 4. 文様・・・草、花、動物、自然、季節、人々の願いや思い 5. 地域に伝わる「織り」「染め」 沖縄の「織り」「染め」 紅型の模様には沖縄の植物や動物が描かれる。 ミンサー織の模様には「いつの世も末永く」という思いが込められている。 6. 江戸時代と循環型社会 自然や物を大切にすることが文化として引き継がれてきた
まとめ	7. まとめ
5分	8. 今日の授業でわかったことや気付いたことを、生活の営みに係る見方・考え方に分けて書く。
振り返り	
5分	
4 板書レイアウト	
貫く目標 自分らしさと持続可能な社会を実現する「衣服を選ぶ力」を身につけよう	
めあて 洋服と和服の違いを知り、その良さをみつけよう	
1. 和服と洋服の違い	3. 沖縄の「織り」「染め」
<和服> 直線 平面	「織り」…糸を染めてから模様を織り出す
<洋服> 体 曲線 立体的	上布、首里織、花織、緋、ミンサー、紬
2. 和服の文様	「染め」…布を織った後に染料や顔料で模様を付ける
草、花、動物、自然、季節、人々の願いや思い	紅型
	4. 江戸時代の循環型社会
	物を大切にすることが 江戸時代の衣生活 着物のリサイクル
	まとめ
	和服は直線縫いの平面構成で紐を結んで体に留め付ける。自然や物を大切にすることが和服の文化には受け継がれている。

題材名 衣服を選ぶ力を身に付けよう

(5 / 8)

授業者：

1 本時のねらい	
(ねらい) 衣服計画の必要性を理解し、既制服を選ぶポイントが分かる	(評価) テスト・ワークシート【知識・技能】
2 めあて、まとめ、振り返り	
(まとめ) 表示を確認して価格、サイズ、素材、好み(快適性)だけでなく長く着られるか(持続可能性) どうか考えることが大切。	(めあて) 衣服を計画的に活用するためのポイントに
(振り返り) 今日の授業でわかったことや気付いたことを、生活の営みに係る見方・考え方に分けて書く。	
3 本時の展開	
導入	1分前黙想・あいさつ
5分	1. 前回の振り返り 2. あなたの家でタンスの中にあって着ていない服はないか 着なくなった理由、着ていない服はどうしているか
展開	3. 衣服計画の立て方 教科書参照 購入以外の入手方法に触れる 4. 着ていない服の活用法 5. 衣服を選ぶときのポイント ①情報の収集するとき 既制服の表示からわかること 「持続可能な社会の構築」の視点から考えなければならないことは何か? ②決定するとき・・・本当に必要か
まとめ	7. まとめ
5分	8. 今日の授業でわかったことや気付いたことを、生活の営みに係る見方・考え方に分けて書く。
振り返り	
5分	
4 板書レイアウト	
貫く目標 自分らしさと持続可能な社会を実現する「衣服を選ぶ力」を身につけよう	
めあて 衣服を計画的に活用するポイントを考えよう	
1. 衣服を着なくなった理由	(2) 衣服を選ぶときのポイント
2. 着ていない衣服はどうしているか	1. 目的・課題
(1) 衣服計画の立て方	↓
1. 必要な衣服の検討	2. 情報の収集・方法の検討
2. 手持ちの衣服の点検	↓
3. 衣服の活用	3. 決定
4. 衣服の入手	↓
	4. 購入
	↓
	5. 評価・反省
	(3) 既制服の表示
	①サイズ表示
	②組成表示
	③取り扱い表示
	④原産国表示
	まとめ
	表示を確認して価格、サイズ、素材、好み(快適性)だけでなく長く着られるか(持続可能性) どうか考えることが大切。

授業プランシート(B 衣食住の生活)

月 日() 年 組

題材名 衣服を選ぶ力を身に付けよう

(6/8)

授業者：

1 本時のねらい	
(ねらい) これまで学んだことをもとに、自分の衣生活の課題を再設定する	(評価) ワークシート【思考・判断・表現】
2 めあて、まとめ、振り返り	
(まとめ) 衣生活の快適さを求めるとともに、持続可能性についても日々の生活で考えていこう。	(めあて) 自分の衣生活の課題を見つけよう
(振り返り) 自分の衣生活の課題について、自分らしさや好み、快適さを求めるだけでなく持続可能性の見方から振り返って考えて書く。	
3 本時の展開	
導入	1分前黙想・あいさつ
5分	1. 前回の振り返り
展開	2. 教科書参照 生活の課題と実践の進め方について 3. 課題設定のためのワークシート 課題の発見は色々な視点から考える 4. この題材で貫いてきた目標を再確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 自分らしさと持続可能な社会を実現する「衣服を選ぶ力」を身につけよう </div> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服を選ぶときにどんな点を重視するか ・自分の衣服の選び方に問題点や改善したい点はないか
5分	5. 教科書 課題の決め方について
	6. 自分の課題を設定する
	7. できた生徒は計画を立てる。
まとめ	7. まとめ
5分	
振り返り	8. 自分の衣生活の課題について、自分らしさや好み、快適さを求めるだけでなく持続可能性の見方から振り返って考えて書く。
5分	
4 板書レイアウト	
貫く目標 自分らしさと持続可能な社会を実現する「衣服を選ぶ力」を身につけよう	
めあて 自分の衣生活の課題を見つけよう	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 自分らしさと持続可能な社会を実現する「衣服を選ぶ力」を身につけよう </div> 生活の課題と実践の進め方 1 課題をみつけよう→2 計画を立てよう→3 実践しよう→4 振り返ろう見直そう→5 改善しよう→6 次の課題に挑戦	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto;"> まとめ 衣生活の快適さを求めるとともに、持続可能性についても日々の生活で考えていこう。 </div>	

授業プランシート(B 衣食住の生活)

月 日() 年 組

題材名 衣服を選ぶ力を身に付けよう

(7/8)

授業者:

1 本時のねらい	
(ねらい) 自分で設定した課題の解決のために、実際の生活で実践する計画を立てる。	(評価) ワークシート【主体的に学習に取り組む態度】
2 めあて、まとめ、振り返り	
(まとめ) 計画は無理なく実践可能なものを考え、家族にも伝えて協力してもらえようようにしよう。	(めあて) 衣生活の課題解決のための計画を立てよう
(振り返り) 計画した理由や工夫したこと、調べたいこと、家庭で実践してみたいことなどを書く。	
3 本時の展開	
導入	1分前黙想・あいさつ
5分	1. 前回の振り返り 2. 教科書参照 生活の課題と実践について 貫く課題を意識して計画を立てよう 自分らしさと持続可能な社会を実現する「衣服を選ぶ力」を身につけよう
展開	3. 計画を立てる。 4. 発表する。友達からアドバイスを受ける。 アドバイスは付箋に書く。アドバイスが思いつかない場合は、友達の良い点を書く。 5. 友達のアドバイスを受けて計画を見直す。 アドバイスがない場合は他の人の計画を聞いて自分の計画にも生かせることを考え、見直す。 6. 家庭での実践レポートを配る。
まとめ	
5分	
振り返り	
5分	7. まとめ 8. 計画した理由や工夫したこと、調べたいこと、家庭で実践してみたいことなどを書く。
4 板書レイアウト	
貫く目標 自分らしさと持続可能な社会を実現する「衣服を選ぶ力」を身につけよう	
めあて 衣生活の課題解決のための計画を立てよう	
生活の課題と実践の進め方	
1 課題をみつけよう→2 計画を立てよう→3 実践しよう→4 振り返ろう見直そう→5 改善しよう→6 次の課題に挑戦	
色々な視点から	①目的
	②日時
	③方法
	④調べること
	⑤材料
	⑥手順
	↓ 土日の実践へ
まとめ 計画は無理なく実践可能なものを考え、家族にも伝えて協力してもらえようようにしよう。	

授業プランシート(B 衣食住の生活)

月 日() 年 組

題材名 衣服を選ぶ力を身に付けよう

(8 / 8)

授業者：

1 本時のねらい	
(ねらい) 自分らしさと持続可能な社会を両方実現していける衣生活について、自分なりに結論を出す。	(評価) ワークシート【思考・判断・表現】
2 めあて、まとめ、振り返り	
(まとめ) 自分らしさも持続可能な社会も両方とも実現していける衣生活について、今後も考えていこう。	(めあて) 実践発表会「自分らしさと持続可能な社会を実現する衣生活とは」の答えを考えよう
(振り返り)	
①「自分らしさと持続可能な社会を実現する衣生活とは」	
②「今の自分にできること・将来に向けてできること」について考えをまとめる。	
3 本時の展開	
導入	1分前黙想・あいさつ
5分	1. 前回の振り返り
	2. 貫く目標の再確認
展開	自分らしさと持続可能な社会を実現する「衣服を選ぶ力」を身につけよう
	3. 実践発表の仕方
	4. グループ内発表会
	5. 全体共有
まとめ	6. 題材のまとめと振り返り
5分	①「自分らしさと持続可能な社会を実現する衣生活とは」
振り返り	②「今の自分にできること・将来に向けてできること」
5分	
4 板書レイアウト	
貫く目標 自分らしさと持続可能な社会を実現する「衣服を選ぶ力」を身につけよう	
めあて 〈実践発表会〉「自分らしさと持続可能な社会を実現する衣生活とは」の答えを考えよう	
〈実践発表会〉	<p>題材のまとめと振り返り</p> <p>①「自分らしさと持続可能な社会を実現する衣生活とは」</p> <p>②「今の自分にできること・将来に向けてできること」</p> <p>まとめ</p> <p>自分らしさも持続可能な社会も両方とも実現していける衣生活について、今後も考えていこう。</p>